

2020年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2020年度日本数学会秋季総合分科会にて、2020年度日本数学会賞建部賢弘賞が、特別賞3名、奨励賞6名に贈られました。

受賞者については、「数学通信」第25巻3号の会報179でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介として、ご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載しています。

(五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。)

特別賞

齋藤平和 (電通大情報理工准教授)

業績の題目：流体力学に現れる自由境界問題の数学解析

非圧縮性粘性流体の運動を記述するナビエ・ストークス方程式を中心に、流体力学に現れる偏微分方程式について研究しています。この度は身に余る賞をいただき大変光栄です。ご指導くださった先生方に厚く御礼申し上げます。また、この場をお借りして日頃お世話になっている研究仲間や同僚の皆様に深く感謝いたします。

松村慎一 (東北大理工准教授)

業績の題目：消滅定理の複素解析的研究およびその幾何学への応用

超越的な手法の代数幾何への応用やホッジ理論の解析的側面に興味を持ち研究しています。研究を続けていくことができたのは周囲の方々に恵まれ、良い環境や機会を提供して頂いたからだと感じています。この場をお借りしてお世話になった方々にお礼申し上げます。

松本雄也 (東京理大理工助教)

業績の題目：混標数および正標数の $K3$ 曲面の研究

標数 0 の $K3$ 曲面の位数 p 自己同型を標数 p の $K3$ 曲面に持っていくと無限小自己同型になることがあるなあ、という観察をきっかけに標数 p の $K3$ 曲面をいろいろ計算して遊んでいたら、思いの外さまざまな結果に結びつきました。これからも面白い現象を探し求めていきたいと思えます。

奨励賞

日下部佑太 (阪大理博士後期課程)

業績の題目：岡多様体および楕円性に関する研究

この度は、このような素晴らしい賞をいただき身に余る光栄に存じます。私は多変数函数論の対象である岡多様体と複素幾何学的性質である Gromov の楕円性について研究しています。今回の受賞を励みに今後より一層精進して参ります。この場をお借りして、日頃からお世話になっている方々に心より感謝申し上げます。

窪田陽介（信州大理講師）

業績の題目：作用素環の K 理論の幾何学的応用

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄に思います。非可換幾何学や指数理論について、特にそれらを分野外に応用していくことを目指して研究を行っております。今回の受賞を励みとして、今後もより一層研究に励みたいと思います。この場をお借りして、日頃お世話になっている方々にお礼申し上げます。

櫻井陽平（東北大材料科学高等研助教）

業績の題目：境界つきリーマン多様体の比較幾何と幾何解析

専門は **Riemann** 幾何学で、特に境界付き **Riemann** 多様体の比較幾何学を軸に研究を行っています。この度は荣誉ある賞を賜り大変光栄に思っております。この場をお借りしまして、日頃ご指導ご鞭撻を頂いております方々に深く御礼申し上げます。これからも謙虚さを忘れず研究に邁進していく所存です。

竹内大智（東大数理博士後期課程）

業績の題目： ℓ 進層のイプシロン因子の研究

この度はこのような荣誉ある賞を頂き、大変嬉しく思っております。私は数論幾何の、特に分岐理論に興味を持ち取り組んでおります。私が楽しんで研究に取り組んでいるのは、指導してくださっている先生方を初め、友人や家族など多くの方々の支えあってのものだと実感しております。この場をお借りして、深く感謝申し上げたいと思います。

中村昌平（埼玉大理工学振 PD）

業績の題目：調和解析における不等式の種々の未解決問題への応用

まず新型コロナウイルスの影響を受けた世界の方々にお見舞い申し上げます。こうした中ですが、賞をいただき、まことに光栄です。研究を続けてきてよかったと実感します。最近調和解析学の未解決問題に対して工学的なアイデアを用いる新たな可能性を模索していますが、すべて皆様のご助力あってのことです。この場を借りてお礼申し上げます。

橋詰雅斗（広島大先進理工学振 PD）

業績の題目：非コンパクト変分問題のコンパクト性喪失現象の研究

関数不等式に関連する変分問題、楕円型方程式を研究しており、特に非コンパクト埋め込みに関連する問題に興味を持っています。この度は名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。この場をお借りして、いつもお世話になっている方々に心より御礼申し上げます。